

朝来市景況調査書

令和3年 第2四半期

(調査対象：令和3年7月～9月)

朝来市商工会

令和3年10月

【目次】

1. 景況調査について.....	2
2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査）	4
3. 業種ごとの集計	5
①建設業（有効調査書数：22件）	5
②製造業（有効調査書数：43件）	7
③小売業（有効調査書数：52件）	10
④サービス業（有効調査書数：74件（内、飲食店：20件、宿泊業8件））	13
（参考文献）	19

I. 景況調査

1. 景況調査について

○本調査書作成の目的

朝来市内事業者が主要商圈とする朝来市地域、但馬地域、及び兵庫県内の経済動向を調査し、市内の業種別産業構造を把握することで、効果的な将来予測、及び経営計画の策定等に繋げることを目的とします。

○本調査書の作成方法

朝来市商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報を比較して調査書を作成します。

○『D.I.』について

D. I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、
「良い」20% - 「悪い」30% = ▲10%
となり、D. I. 値は▲10ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10件	20%
不変	25件	50%
悪い	15件	30%
合計	50件	100%

○参考とする調査書と有効回答数について

本調査書の作成にあたり、株式会社みなと銀行が四半期毎に実施する「兵庫県内中小企業の景況調査」、および但馬信用金庫が四半期毎に実施する「但馬管内の景気動向調査」の調査結果を参照しています。

(対象期間(R3. 7~9月)における有効回答数)

	建設業	製造業	小売業	サービス業
兵庫県内中小企業の景況調査 (株みなと銀行)	242件	379件	85件	112件
但馬管内の景気動向調査 (但馬信用金庫)	95件	83件	74件	146件
朝来市景況調査書 (朝来市商工会)	22件	43件	52件	74件

○業種の分類について

本調査書では、朝来市内事業所における卸売業は「小売業」とあわせて集計しています。

◆令和3年度調査からの変更点◆

<①実施時期について>

令和2年まで、朝来市内の景況調査は1年間に「上期(1月～3月)」、「下期(7月～9月)」の計2回実施しておりましたが、令和3年度より四半期ごとに実施いたします。

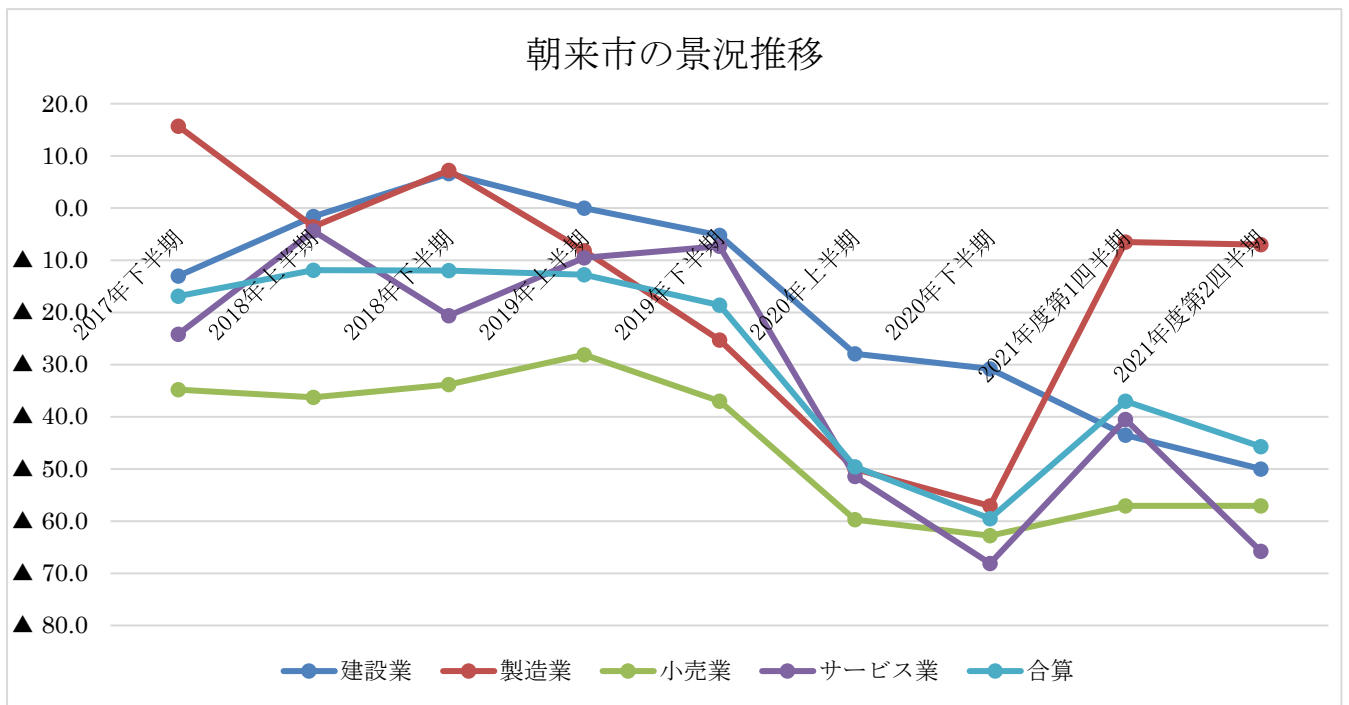
<②サービス業の区分>

今年度よりサービス業全体に加えて、「飲食店のみ」、「宿泊業のみ」のD.I.値も計算しております。詳しくは「サービス業」の調査結果ページにてご確認ください。

<③部門ごとのD.I.値>

製造業、卸売・小売業についてもサービス業と同様、複数回答を得られた業種から、細かく分類しD.I.値を掲載しています。

2. 朝来市の景況推移



	2019年 上半期 (H31. 1~3月)	2019年 下半期 (R1. 7~9月)	2020年 上半期 (R2. 1~3月)	2020年 下半期 (R2. 7~9月)	2021年度 第1四半期 (R3. 4~6月)	2021年度 第2四半期 (R3. 7~9月)
建設業	0.0 (51件)	▲ 5.2 (58件)	▲ 27.9 (48件)	▲ 30.8 (39件)	▲ 43.5 (23件)	▲ 50.0 (22件)
製造業	▲ 8.2 (61件)	▲ 25.3 (79件)	▲ 50.0 (53件)	▲ 57.1 (64件)	▲ 65.8 (46件)	▲ 74.0 (43件)
小売業	▲ 28.1 (89件)	▲ 37.0 (81件)	▲ 59.7 (78件)	▲ 62.8 (81件)	▲ 54.3 (46件)	▲ 57.1 (52件)
サービス業	▲ 9.5 (126件)	▲ 7.3 (110件)	▲ 51.4 (125件)	▲ 68.1 (120件)	▲ 42.3 (78件)	▲ 65.8 (74件)
合算	▲ 12.8 (308件)	▲ 18.6 (328件)	▲ 49.6 (304件)	▲ 59.5 (304件)	▲ 36.8 (196件)	▲ 45.7 (191件)

(※回答数 191 件)

直近6回の調査における「業況(自業種の景気動向)」の集計結果の推移を示しています。表の上段の数値はD.I.値、下段の数値はその時の集計件数を示しています。

今回の調査対象時期である7月~9月は感染者数が増加し、8月以降に緊急事態宣言が発令されたため、外出自粛の影響を受ける業種を中心に業況が厳しい結果となりました。

3. 業種ごとの集計

①建設業（有効調査書数：22件）

○昨年(7～9月)と比較して、今期の業況はいかがですか？

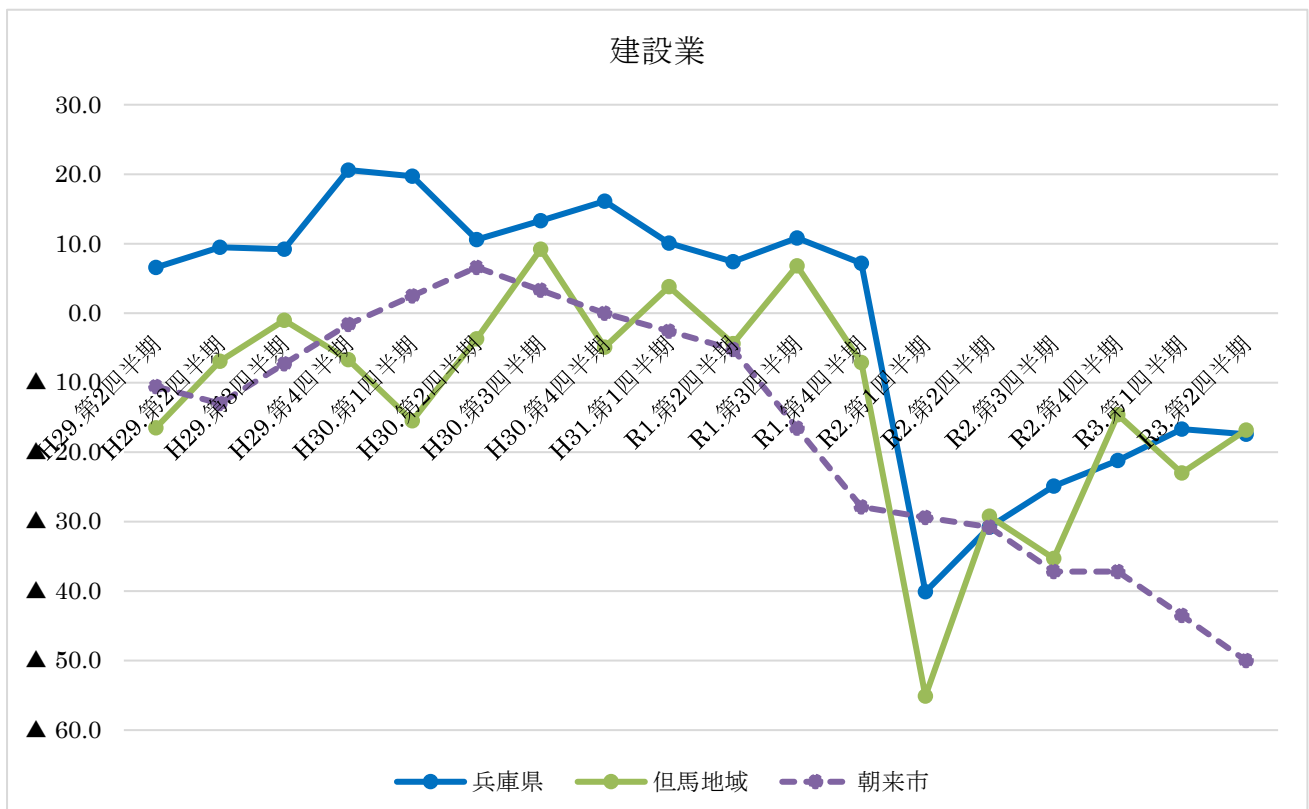
	件数	構成比
好転	0件	0%
不変	11件	50.0%
悪化	11件	50.0%

「不変」「悪化」と回答した事業者で半々となっており、また「好転」の回答はなく、4月～6月期以上に景気判断値は厳しい状況が続いています。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲17.4ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲16.8ポイント
朝来市	▲50.0ポイント

朝来地域のD. I. 値が兵庫県全域、但馬地域と比較し低い結果となっています。

○建設業における地域ごとの景況推移



※朝来市は2020年4期(9～12月)、2021年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域は2020年2期以降に上昇傾向となっていますが、朝来市では減少の傾向となっており、厳しい状況の建設業が多いと推測できます。

○経営上の問題点（建設業－朝来市）

	2020 年上半期	2020 年下半期	2021 年度第 1 四半期	2021 年度第 2 四半期
1 位	従業員の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難
2 位	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難
3 位	材料等仕入単価の上昇	人件費以外の経費の増加	材料等仕入単価の上昇	人件費の増加

「熟練技術者の確保難」「従業員の確保難」が 1 位と 2 位にあがっており、続いて「人件費の増加」が上位に挙がっています。人手不足の解消が難しいことが窺え、また工事価格（＝販売価格）が前年度同様との回答が多く、利益の低下が予想されます。

○経営状況や今後の方針について（建設業－朝来市）

創業 5 年未満	0 件
売上・事業拡大	10 件
現状維持	9 件
事業承継への取り組み	3 件
廃業を検討	1 件

※複数回答あり

・廃業を検討（1 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	1 件

②製造業（有効調査書数：42件）

○昨年（7～9月）と比較して、今期の業況はいかがですか？

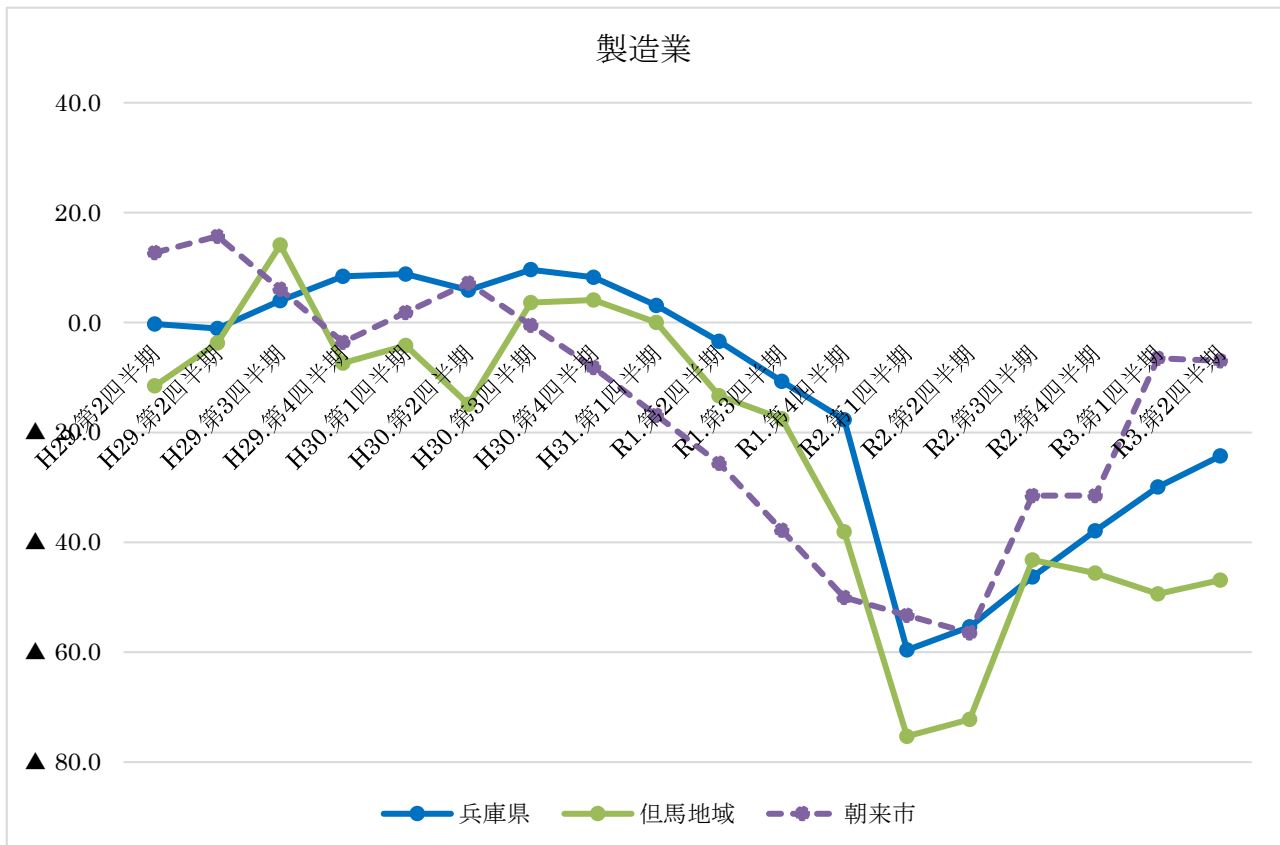
	件数	構成比
好転	10件	23.3%
不変	20件	46.5%
悪化	13件	30.2%

製造業全体の D. I. 値は増加していますが、業種ごとの好転、悪化の差が大きくなっています。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲24.3ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲46.9ポイント
朝来市	▲7.0ポイント

4月期～6月期と同様、朝来市内の D. I. 値が最も高い得点となりました。一方で同じ製造業でも、業種によって差も大きい結果となっています。

○製造業における地域ごとの景況推移



※朝来市は2020年4期（9～12月）、2021年1期（1～3月）の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域、朝来地域では2021年以降に改善傾向です。但馬地域のみ年明けから減少を見せましたが、今回調査時期では若干の回復となりました。

○経営上の問題点（製造業－朝来市）

	2020 年上半期	2020 年下半期	2021 年度第 1 四半期	2021 年度第 2 四半期
1 位	需要の停滞	需要の停滞	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	材料等仕入単価の上昇	人件費以外の経費の増加	従業員の確保難	従業員の確保難
3 位	人件費以外の経費の増加	材料等仕入単価の上昇	需要の停滞	需要の停滞

1 位～3 位まで前回調査と同じ結果となっており、原材料価格の高騰が依然として続いているためと思われます。D. I. 値は他業種と比較し数字は良化していますが、需要の停滞が上位に入っていることから、同じ製造業でも取扱商品によって差があると考えられます。

○経営状況や今後の方針について（製造業－朝来市）

創業 5 年未満	2 件
売上・事業拡大	22 件
現状維持	17 件
事業承継への取り組み	7 件
廃業を検討	3 件

※複数回答あり

・廃業を検討（3 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	3 件

○製造業種ごとのD. I. 値について

※複数回答を頂けた業種を3件掲載します。

・金属製品に関する製造業（金属製品、金属加工、部品製造など）

	件数	構成比
好転	4件	30.8%
不変	7件	53.8%
悪化	2件	15.4%
D. I. 値	—	15.4ポイント

・繊維製品等の製造業

	件数	構成比
好転	2件	40.0%
不変	2件	40.0%
悪化	1件	20.0%
D. I. 値	—	20.0ポイント

・食品関連の製造業（食料品、飲料、調味料など）

	件数	構成比
好転	1件	11.1%
不変	5件	55.6%
悪化	3件	33.3%
D. I. 値	—	▲22.2ポイント

製造業の中でも、複数回答を頂けた業種のD. I. 値を算出いたしました。金属製品・加工の製造は4月～6月調査よりもD. I. 値は減少しましたが、プラスの結果が続いています。一方で製造でも部品製造業は悪化との回答もあり、業種間により差が出ています。

食品に関わる製造業マイナス値が継続しており、緊急事態宣言の再発令や感染者増加による自粛、飲食店への休業・時短要請の影響を再度受けたと考えられます。

③小売業（有効調査書数：49件）

○昨年（7～9月）と比較して、今期の業況はいかがですか？（※内3件未回答）

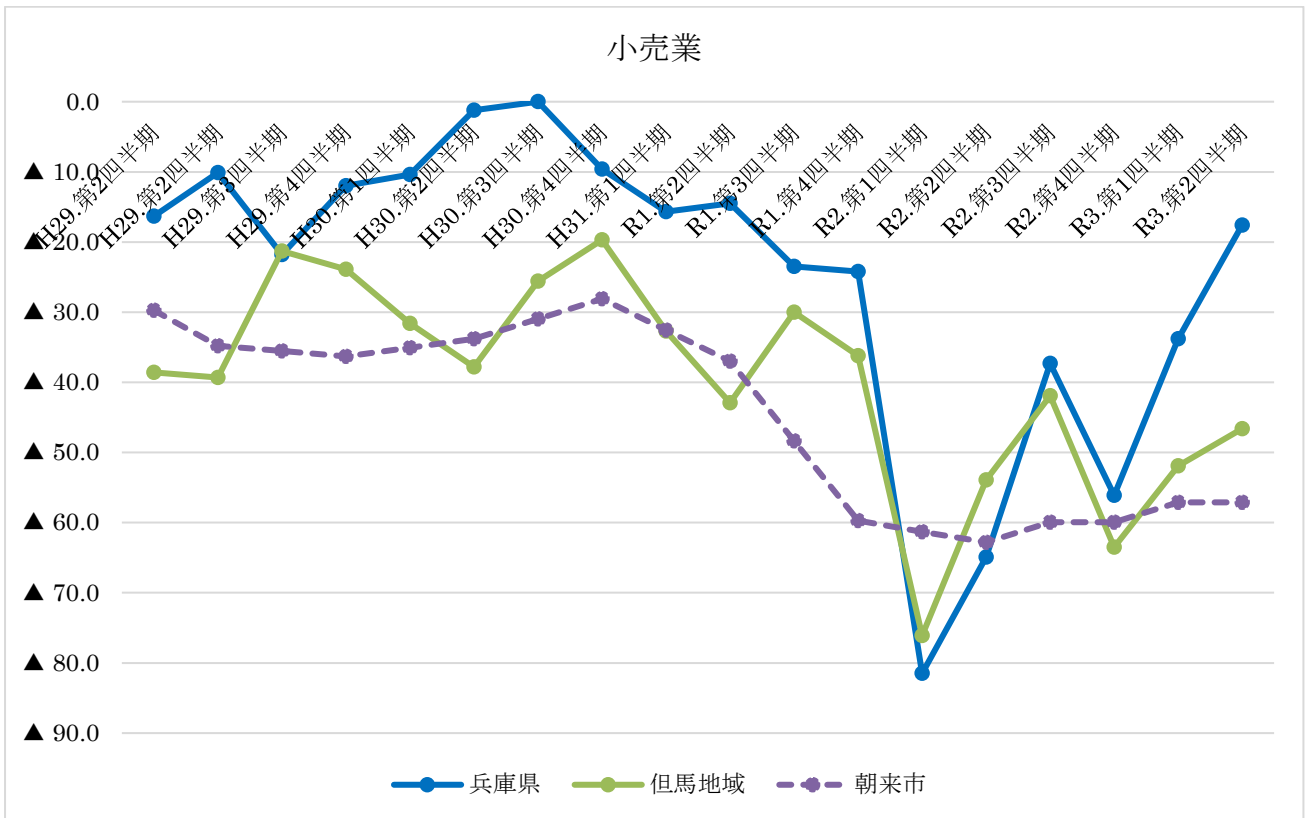
	件数	構成比
好転	3件	6.1%
不変	15件	30.6%
悪化	31件	63.2%

前回調査と似た構成比となっており、4月～6月と同様に厳しい状況が続いていると予想されます。

地域	D. I.
兵庫県 （みなと銀行）	▲17.6ポイント
但馬地域 （但馬信用金庫）	▲46.6ポイント
朝来市	▲57.1ポイント

地域比較も前回調査と同様、但馬地域、朝来市内のD. I. 値が低く、苦境に立たされている小売業が多いと考えられます。

○小売業における地域ごとの景況推移



※朝来市は2020年4期（9～12月）、2021年1期（1～3月）の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域では2021年に入ってから改善してきており、但馬地域も伸び幅は県全域ほどではないものの増加しています。朝来市は伸び悩みを見せており、他地域と比較し厳しい状況と言えます。

○経営上の問題点（小売業－朝来市）

	2020 年上半期	2020 年下半期	2021 年度第 1 四半期	2021 年度第 2 四半期
1 位	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応
2 位	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞
3 位	材料等仕入単価の 上昇	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化

経営上の抱える問題について、3 回続いて上位回答が同じ結果となりました。特に 1 位、2 位はコロナ禍で消費者の動向が大きく変わったこともあり、対応に苦慮する小売店、卸売店が多いと予想できます。

○経営状況や今後の方針について（小売業－朝来市）

創業 5 年未満	1 件
売上・事業拡大	13 件
現状維持	27 件
事業承継への取り組み	12 件
廃業を検討	9 件

※複数回答あり

・廃業を検討（9 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	3 件
事業譲渡なども、全く考えていない	6 件

○小売・卸売業種ごとのD.I.値について

※複数回答を頂けた業種を2件掲載します。

・織物・衣服・身の回りの品、などの小売業

	件数	構成比
好転	0件	—
不変	2件	18.2%
悪化	9件	81.8%
D.I.値	—	▲81.8ポイント

・飲食料品に係る小売・卸売業

	件数	構成比
好転	0件	—
不変	1件	8.3%
悪化	11件	91.7%
D.I.値	—	▲85.7ポイント

※業況について1件未回答

上記2点が複数回答を頂けた業種ですが、「好転」と回答した事業者は無く、悪化と回答した事業者が大半となっています。「織物・衣服・身の回りの品、などの小売業」は前回の4月～6月調査よりもD.I.値が大きく下がっており、「飲食料品に係る小売・卸売業」はほぼ同等の結果となりました。

また少数の回答ですが、他事業所は以下の通りとなっています。

- ・家具、寝具等小売…「不変」3件、「悪化」1件
- ・写真機・時計・眼鏡小売業…「好転」1件、「不変」1件、「悪化」1件

④サービス業（有効調査書数：73件）

○昨年(7～9月)と比較して、今期の業況はいかがですか？（※内1件未回答）

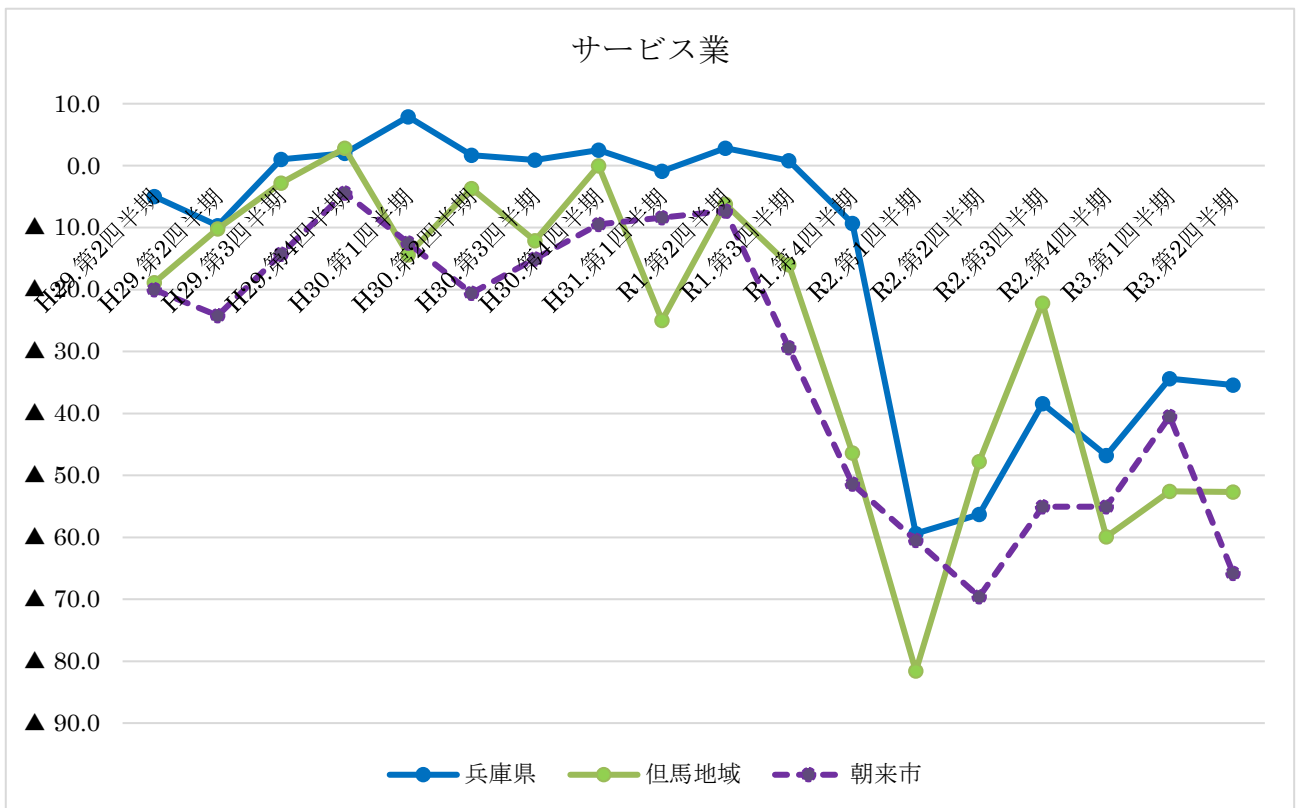
	件数	構成比
好転	2件	2.7%
不変	20件	28.8%
悪化	49件	68.5%

前回調査と比較し、悪化と回答した事業者が増加し、感染者増加や緊急事態宣言の影響を大きく受けた結果と考えられます。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲35.7ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲52.7ポイント
朝来市	▲65.8ポイント

但馬地域、朝来市の D. I. 値が低い数字となっており、また全ての地域で最も低い D. I. 値を示したのがサービス業です。

○サービス業における地域ごとの景況推移



※朝来市は2020年4期(9～12月)、2021年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

7月～8月期は感染者が急増し緊急事態宣言も発令されたため、飲食店をはじめとするサービス業は客足が減少したと予想されます。また D. I. 値のマイナス値は但馬地域と逆転しており、朝来市は但馬内でも厳しい状況と予想されます。

○経営上の問題点（サービス業－朝来市）

	2020 年上半期	2020 年下半期	2021 年度第 1 四半期	2021 年度第 2 四半期
1 位	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化
2 位	店舗施設の老朽化	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞
3 位	需要の停滞	店舗施設の老朽化	材料仕入単価 の上昇	材料仕入単価 の上昇

経営課題として上位を占める 3 点は 4 月～6 月期と同じ結果となりました。需要の停滞がコロナ禍で根強く残っており、また仕入用の食材費・燃料代なども値上がりが続いているため、料金値上げを実施するかどうか、なども今後発生する問題と思われます。

○経営状況や今後の方針について（サービス業－朝来市）

創業 5 年未満	10 件
売上・事業拡大	23 件
現状維持	37 件
事業承継への取り組み	17 件
廃業を検討	4 件

※複数回答あり

・廃業を検討（4 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	2 件
事業譲渡なども、全く考えていない	2 件

○サービス業種ごとのD.I.値について

※飲食店、宿泊業、また複数回答を頂けた業種を2件掲載します。

・飲食店

	件数	構成比
好転	1件	5.0%
不変	2件	10.0%
悪化	17件	85.0%
D.I.値	—	▲80.0ポイント

・宿泊業

	件数	構成比
好転	1件	12.5%
不変	3件	37.5%
悪化	4件	50.0%
D.I.値	—	▲37.5ポイント

・洗濯・理容・美容・浴場業

	件数	構成比
好転	0件	—
不変	5件	45.5%
悪化	6件	54.5%
D.I.値	—	▲54.5ポイント

・自動車整備サービス、運送業など

	件数	構成比
好転	0件	—
不変	3件	30.0%
悪化	7件	70.0%
D.I.値	—	▲70.0ポイント

4月～6月の調査と比較し、上記4つの業種全てでD.I.値が減少の結果となりました。昨年の同時期(R2.7～R2.9)とは異なり緊急事態宣言が発令されていたため、対面サービスの多い業種を中心に売上減少したと考えられます。

(参考) 全データの集計

○経営者、事業主の年齢を教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
20代	1	0	0	0	1
30代	0	1	1	2	4
40代	7	10	6	15	38
50代	6	9	9	17	41
60代	5	17	16	22	60
70代以上	2	7	20	18	47

○朝来市商工会に望むことについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
経営全般への相談	8	8	13	16	45
補助金・助成金の相談	14	26	31	43	114
各種認定について	6	3	3	6	18
IT化について	9	5	5	11	30
税務・労務について	3	9	7	15	34
特に相談等は無し	5	8	15	16	44

○経営状況や今後の方針について教えてください

(複数回答可能)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
創業5年未満	0	2	1	10	13
売上・事業拡大	10	22	13	23	68
現状維持	9	17	27	37	90
事業承継への取り組み	3	7	12	17	39
廃業検討	1	3	9	4	17

※廃業を検討される方

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
事業譲渡や引き渡しを検討	0	0	3	2	5
事業譲渡なども、全く考えていない	1	3	6	2	12

○雇用者数について教えてください

【正社員(正規雇用)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	0	8	20	32	60
1人～5人	13	9	21	27	70
6人～10人	2	5	2	7	16
11人～20人	2	2	3	5	12
21人以上	4	18	2	1	25
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	15	19	6	12	52
適正人数である	5	14	17	24	60
雇い入れが過剰である	0	0	1	0	1
雇用していない・しない	1	7	20	30	58
新型コロナウイルス感染症の影響で 解雇・雇い止めを実施	0	1	0	0	1

【パートタイマー(アルバイト)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	5	17	27	30	79
1人～5人	14	16	14	34	78
6人～10人	0	3	2	3	8
11人～20人	1	5	3	2	11
21人以上	0	3	1	1	5
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	4	9	2	10	25
適正人数である	13	20	18	32	83
雇い入れが過剰である	0	0	1	0	1
雇用していない・しない	3	13	23	25	64
新型コロナウイルス感染症の影響で 解雇・雇い止めを実施	0	0	0	1	1

○令和2年7～9月と前年同期(令和元年7～9月)を比較した状況について教えてください

		建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
業況	好転	0	10	3	2	15
	同じ	10	19	15	20	64
	悪化	11	13	31	49	104
売上	増加	1	1	0	0	2
	同じ	11	0	0	10	21
	減少	9	3	0	10	22
販売価格	増加	0	0	0	0	0
	同じ	12	1	0	1	14
	減少	6	3	0	6	15
仕入価格	増加	7	0	0	0	7
	同じ	7	2	0	0	9
	減少	6	2	0	2	10
資金繰り	好転	2	0	0	0	2
	同じ	12	0	0	3	15
	悪化	6	0	0	0	6

○今期の経営上の問題点を教えてください(上位3つまで)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
大企業の進出による競争の激化	0	0	8	3	11
新規参入業者の増加	3	2	2	8	15
利用者ニーズの変化への対応	3	5	23	20	51
店舗施設の老朽化	1	12	20	33	66
人件費の増加	6	7	7	8	28
人件費以外の経費の増加	3	9	2	11	25
利用料金の低下・上昇難	2	1	4	9	16
材料等仕入単価の上昇	4	24	8	23	59
金利負担の増加	0	1	1	1	3
事業資金の借入難	2	0	3	7	12
従業員の確保難	11	19	7	9	46
熟練技術者の確保難	11	10	5	9	35
需要の停滞	4	16	22	27	69
その他	1	3	7	10	21

(参考文献)

兵庫県内中小企業の景況調査／株式会社みなと銀行
但馬管内の景気動向調査／但馬信用金庫

「朝来市景況調査書」についてのお問い合わせ先

朝来市商工会

〒669-5201 朝来市和田山町和田山 404

電話：079-672-2362 FAX：079-672-4844

URL：<http://www.asago.org/> メール：shokokai@asago.org